

令和6年度  
相模原市国際教育特区  
L C A 国際小学校  
学校評価結果表

令和7年2月

相模原市

# 目 次

I	はじめに	P. 2
II	法令事項	P. 3
	① 学級編制に関すること (P. 3)	
	② 教科用図書が無償給与に関すること (P. 3)	
	③ 学校保健及び学校安全に関すること (P. 4)	
	④ 教育課程及び教材に関すること (P. 6)	
	⑤ 校務分掌に関すること (P. 6)	
	⑥ 教職員に関すること (P. 7)	
	⑦ 学校設置会社の業務及び財産の状況の公開に関すること (P. 8)	
	⑧ いじめ防止に関すること (P. 8)	
III	教育内容等	P. 9
	⑨ 教育課程に関すること (P. 10)	
	⑩ 学校の特色を生かした特別の教育課程に関すること (P. 12)	
	⑪ 学習指導に関すること (P. 12)	
	⑫ 児童指導に関すること (P. 14)	
	⑬ 教職員の研修・評価に関すること (P. 16)	
	⑭ 学校保健に関すること (P. 17)	
	⑮ 学校安全に関すること (P. 18)	
	⑯ 自己評価の実施状況に関すること (P. 19)	
IV	経営	P. 20

# I はじめに

## 1 評価の目的

この学校評価は、構造改革特別区域法（平成14年法律第189号。以下「法」という。）第12条第5項の規定に基づき、本市がLCA国際小学校の教育、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について評価を行い、その結果を当該小学校に通知するとともに、これを公表することにより、児童がより良い教育活動等を享受できるよう学校運営の改善と発展を促すことを目的とする。

## 2 評価内容

この学校評価は、次の3分野について実施する。

- (1) 法令事項に関すること・・・(P. 3)
- (2) 教育内容等に関すること・・・(P. 9)
- (3) 経営に関すること・・・・・・(P. 20)

## 3 評価の手順

本市が設定した評価項目について、当該小学校による自己評価を基に、同校に対するヒアリング・視察等を実施し、評価を行う。なお、評価の過程では、教育内容や学校運営等について専門的な観点から検討するため、教育に関する学識経験者や公認会計士等で構成された附属機関（相模原市国際教育特区諮問委員会）へ学校評価について諮問するとともに、中小企業診断士が経営に関する詳細な分析・把握を行う。

## 4 評価の通知・公表

学校評価の結果については、法第12条第6項の規定に基づき、当該小学校に通知するとともに、本市のホームページ等で公表する。

## Ⅱ 法令事項

表 題 1 学級編制に関すること			
No.	確 認 項 目	適○ 否×	否の理由
1	1 学級の児童数は 35 人以下で編制されているか。(第 6 学年については 40 人以下)  根拠法令[小学校設置基準第 4 条・ 公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律第 3 条] 【確認書類】 児童数等異動報告書	○	
2	学年は同学年の児童で編制されているか。  根拠法令[小学校設置基準第 5 条] 【確認書類】 児童数等異動報告書	○	
その他			

表 題 2 教科用図書の無償給与に関すること			
No.	確 認 項 目	適○ 否×	否の理由
1	教科用図書が児童に無償給与されているか。  根拠法令[義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第 5 条] 【確認書類】 教科用図書納入(返付)指示書、教科用図書給与児童名簿、教科用図書受領証明書明細表、使用教科書一覧表、全使用教科書	○	
その他			

表 題 3		学校保健及び学校安全に関すること	
No.	確 認 項 目	適○ 否×	否の理由
1	<p>定期健康診断が、児童と職員に対して行われているか。 (別紙検診項目全てを行った場合に○とし、一項目でも行わなかった場合は×とする。)</p> <p>根拠法令[学校保健安全法第13条・第15条、同法施行規則 第5条～第8条・第12条～第15条]</p> <p>【確認書類】 検査報告書、健康診断票、保健調査票等</p>	○	
2	<p>前項の健康診断の結果に基づき、疾病の予防処置又は治療の指示を、児童及び保護者又は職員本人に行っているか。また、必要に応じ管理指導表による管理指導を行っているか。</p> <p>根拠法令[学校保健安全法第14条・第16条、 同法施行規則第9条・第16条]</p> <p>【確認書類】 管理指導表、お知らせ書類等</p>	○	
3	<p>環境衛生検査が適正に行われているか。 (別紙検査項目ごとに適否を判断し、一項目でも×の場合は×とする。)</p> <p>根拠法令[学校保健安全法第5条・第6条、同法施行規則第1条、 学校環境衛生基準]</p> <p>【確認書類】 検査報告書</p>	○	
4	<p>学校医、学校歯科医及び学校薬剤師が配置されているか。</p> <p>根拠法令[学校保健安全法第23条]</p> <p>【確認書類】 学校医等依頼文書、職員体制表等</p>	○	
5	<p>学校保健計画を策定し、実施しているか。</p> <p>根拠法令[学校保健安全法第5条]</p> <p>【確認書類】 学校保健計画</p>	○	
6	<p>学校安全計画を策定し、実施しているか。</p> <p>根拠法令[学校保健安全法第27条]</p> <p>【確認書類】 学校安全計画</p>	○	
7	<p>危険等発生時対処要領を作成しているか。</p> <p>根拠法令[学校保健安全法第29条]</p> <p>【確認書類】 危険等発生時対処要領</p>	○	
その他			

別紙（表題3 3-1関係）

<児童>

評価項目	定期健康診断が、児童と職員に対して行われているか。		
	検査項目	適○ 否×	否の理由
	身長及び体重	○	
	栄養状態	○	
	脊柱及び胸郭の疾病及び異常の有無並びに四肢の状態	○	
	視力及び聴力	○	
	眼の疾病及び異常の有無	○	
	耳鼻咽喉頭疾患及び皮膚疾患の有無	○	
	歯及び口腔の疾病及び異常の有無	○	
	結核の有無	○	
	心臓の疾病及び異常の有無	○	
	尿	○	
	その他の疾病及び異常の有無	○	

<職員>

評価項目	定期健康診断が、児童と職員に対して行われているか。		
	検査項目	適○ 否×	否の理由
	身長、体重及び腹囲	○	
	視力及び聴力	○	
	結核の有無	○	
	血圧	○	
	尿	○	
	胃の疾病及び異常の有無	○	
	貧血検査	○	
	肝機能検査	○	
	血中脂質検査	○	
	血糖検査	○	
	心電図検査	○	
	その他の疾病及び異常の有無	○	

別紙（表題3 3-3関係）

評価項目	環境衛生検査が適正に行われているか。		
	検査項目	適○ 否×	否の理由
	飲料水等の水質	○	
	飲料水等に関する施設・設備	○	
	教室等の換気、保温、採光、照明及び騒音	○	
	その他 ( )		

表 題 4		教育課程及び教材に関すること	
No.	確 認 項 目	適○ 否×	否の理由
1	学期及び休業日に関して、適切に定められているか。  根拠法令[学校教育法施行令第29条] 【確認書類】年間計画書	○	
2	教育課程が適切に編成されているか。  根拠法令[学校教育法施行規則第50条～第53条] 【確認書類】各教科等年間指導計画書、道徳教育の全体計画	○	
3	文部科学大臣の検定を経た教科用図書又は文部科学省が著作の名義を有する教科用図書を使用しているか。  根拠法令[学校教育法第34条] 【確認書類】教科書使用届、全使用教科書	○	
その他			

表 題 5		校務分掌に関すること	
No.	確 認 項 目	適○ 否×	否の理由
1	校務分掌の仕組みが整えられているか。  根拠法令[学校教育法施行規則第43条] 【確認書類】校務分掌表	○	
その他			

表 題 6		教職員に関すること	
No.	確 認 項 目	適○ 否×	否の理由
1	<p>校長、教諭、養護教諭（看護師）及び事務職員が配置されているか。</p> <p>根拠法令[学校教育法第7条、学校設置認可基準第9条]</p> <p>-----</p> <p>【確認書類】教職員名簿</p>	○	
2	<p>必要な教員免許状を所持する者が配置されているか。</p> <p>根拠法令[教育職員免許法第3条、学校設置認可基準第9条]</p> <p>-----</p> <p>【確認書類】教職員名簿</p>	○	
3	<p>校長の資格について充足しているか。</p> <p>根拠法令[学校教育法施行規則第20～22条]</p> <p>-----</p> <p>【確認書類】校長の就任承諾書及び履歴書</p>	○	
4	<p>教諭は必要な数が配置されているか。</p> <p>根拠法令[公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律第7条、学校設置認可基準第9条]</p> <p>-----</p> <p>【確認書類】教職員名簿</p>	○	
5	<p>司書教諭が配置されているか。</p> <p>根拠法令[学校図書館法第5条]</p> <p>-----</p> <p>【確認書類】教職員名簿</p>	○	
6	<p>司書教諭のほかに、学校図書館の利用の一層の促進に資するための専ら学校図書館の職務に従事する職員（通称：学校司書）の配置に努めているか。</p> <p>根拠法令[学校図書館法第6条]</p> <p>-----</p> <p>【確認書類】教職員名簿</p>	○	
その他			



表 題 7		学校設置会社の業務及び財産の状況の公開に関すること	
No.	確 認 項 目	適○ 否×	否の理由
1	業務及び財産の状況を閲覧に供する準備がなされているか。  根拠法令[構造改革特別区域法第12条第3項] ----- 【確認書類】 貸借対照表、損益計算書、事業報告書	○	
その他			

表 題 8		いじめ防止に関すること	
No.	確 認 項 目	適○ 否×	否の理由
1	いじめ防止基本方針が策定され、公表されているか。  根拠法令[いじめ防止対策推進法 第13条] ----- 【確認書類】 学校いじめ防止基本方針	○	
2	いじめ防止対策のための組織が作られているか。  根拠法令[いじめ防止対策推進法 第22条] ----- 【確認書類】 学校いじめ防止基本方針	○	
3	重大事態が発生した際の調査体制及び市長への報告体制は整っているか。  根拠法令[いじめ防止対策推進法 第28条、第32条] ----- 【確認書類】 学校いじめ防止基本方針	○	
その他			

総合評価	
法令事項については、全24項目が適であり、適切な対応が図られていることを確認した。	

### Ⅲ 教育内容等

#### 【評定基準】

##### 評定A 「優れた取組が行われている」

特色ある優れた取組が行われ、教育効果を上げている。

##### 評定B 「適切な取組が行われている」

適切な取組が行われ、通常求められる学校運営がおおむね実施されている。

##### 評定C 「取組の改善が求められる」

取組に課題があり、早急に改善が求められる。

※英語教育に関する評価項目（表題10-1）については、構造改革特別区域計画（相模原市国際教育特区）に位置づけられている「英語イマージョン教育（\*）」の実施を前提として、取組を評価しています。また、その他の評価項目については、本市の公立校と比較した上で評価しています。

※昨年度の学校評価結果表における「課題・改善策」に対する取組に関することのみを記載した評価項目については、昨年度と同様の取組は継続して行っていることを確認した上での評価としています。

#### \*イマージョン教育

通常の教科の授業を第2言語で教えることにより、学習者に自然に第2言語を習得させる教育プログラムのこと。第2言語が英語の場合には、英語イマージョン教育と言われる。

表 題 9		教育課程に関すること	
No.	評 価 項 目		評 価 意 見
1	学校の教育課程の編成・実施の考え方について、教職員間の共通理解に努めているか。(学校教育課) 【昨年度の課題・改善策】 引き続き、新規採用や経験の浅い教員の状況を丁寧に把握し、適切な研修やフォローアップ体制を整えることが望まれる。		取組状況 ○年度末、年度初めの職員会議において教育課程についての説明をしている。 ○新たに教務事務担当を作り、授業時数を複数回点検している。 ○初任者研修や校内研修において、毎月の授業の振り返りを行っている。示範授業を録画し、視聴できる研修体制を整えている。 特色 ○外国人教員と日本人教員がコミュニケーションを図り、役割分担をしながら教職員間の共通理解に努めている。
	評 定	B	課題・改善策 —
2	児童の学力・体力の状況を把握し、それを指導に生かそうと努めているか。(教育センター) 【昨年度の課題・改善策】 —		取組状況 ○評価規準と児童の到達状況を照らし、個に応じた指導を行っている。 ○授業における観察記録、学習記録、テスト、学力調査の結果を基に児童一人ひとりの学習状況を把握している。 ○体育の学習、休み時間等の児童の様子を観察している。 特色 ○児童一人ひとりの状況を把握し、個に応じた指導を行うため、エンリッチメントタイム(短時間学習)を活用している。 ○児童支援コーディネーターを中心に学習時の様子を観察している。 ○個別支援が必要な児童に対して、学習支援員や英語の支援要員を配置している。
	評 定	B	課題・改善策 —
3	体験活動、学校行事などが、適切な指導・管理体制の下に適切に実施されているか。(学校教育課) 【昨年度の課題・改善策】 児童・保護者・教職員の過度の負担とならないよう、内容の精選・見直しを継続的に行いながら行事や活動の充実を継続するとともに、各教科等の年間指導計画の適切な実施に努めることが望まれる。		取組状況 ○特色のある体験活動や学校行事等学校内だけでは体験できない活動が計画・実施されている。 ○各教科の年間指導計画の適切な実施に向け、体験活動や学校行事のねらいを確認しながら内容の精選・見直しを進めている。 特色 ○パフォーマンスデー、スピーチコンテストなど、学習活動の成果を発表し、意欲を高める行事が計画・実施されている。
	評 定	B	課題・改善策 —

4	各教科等の年間指導計画等が、学習指導要領にのっとり作成されているか。(学校教育課)	取組状況	○学習指導要領にのっとり年間計画が作成されている。
	【昨年度の課題・改善策】 特に高学年においては、引き続き、各教科等の年間指導計画の適切な実施に努めることが望まれる。	特色	○教育課程特例校として英語科を設置し、系統的な指導を行うとともに、教科横断的な学習に取り組んでいる。
	評 定	B	課題・改善策
5	保護者から寄せられる意見や要望を教育活動や学校運営全般にどのように反映させているか。(学校教育課)	取組状況	○行事ごとに、学校運営、教育活動に関する保護者からの意見を集約している。 ○保護者から寄せられる意見や要望のうち、即時対応を必要とする案件については、関係する教職員に共有し、連携して対応にあたっている。
	【昨年度の課題・改善策】 引き続き、保護者からの意見を収集する機会を適切に設けるとともに、教職員間の情報共有体制を充実させていくことが望まれる。	特色	○保護者と校長が、直接話やメールができる機会を設けている。
	評 定	B	課題・改善策
その他			

表 題 10		学校の特色を生かした特別の教育課程に関すること	
No.	評 価 項 目	評 価 意 見	
1	<p>児童の英語に関するめざす力の実現状況を把握するとともに、指導と評価の一体化が図られた授業が行われているか。(教育センター)</p> <p>【昨年度の課題・改善策】 新しいカリキュラムを実施して得られた成果を、次年度以降の指導改善と児童の資質・能力の向上のために生かすことが望まれる。</p>	取組状況	<p>○全体研修や学年教務会などを継続的に実施し、各教員の指導観、教材観を共有しながら、指導と評価の一体化が図られた授業を行うことができるように努めている。</p> <p>○教科部会で進捗状況と課題、成果を確認し教務主任が取りまとめ、次年度以降に向けて調整している。</p> <p>○パフォーマンステストの機会や外部試験等を活用しながら、英語に関するめざす力の実現状況を把握している。</p>
	評 定	B	課題・改善策
2	<p>日本語能力の習得や、日本の伝統文化に関わる学習を実践するための指導計画が作成されており、それに基づいて指導が行われているか。(学校教育課)</p> <p>【昨年度の課題・改善策】 引き続き、家庭の協力も得ながら、日本の伝統文化に触れる機会を充実させていくことが望まれる。</p>	取組状況	<p>○国語や道徳等の年間指導計画において、古典や伝統文化を学ぶ箇所を意識できるよう指導計画が作成されている。</p> <p>○毎月の学校便りでは、家庭でも話題にできるよう、日本の伝統文化に関する内容を掲載している。</p>
	評 定	B	課題・改善策
その他			

表 題 11		学習指導に関すること	
No.	評 価 項 目	評 価 意 見	
1	<p>学習指導要領にのっとり、児童の発達段階に即した指導がなされているか。(教育センター)</p> <p>【昨年度の課題・改善策】 国立教育政策研究所の「学習評価の参考資料」等を参考にしながら適切な評価規準を作成し、引き続き指導と評価の一体化を図ることが求められる。</p>	取組状況	○学習指導要領にのっとり授業を行うとともに、「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料を基に、教員が主に長期休業期間を活用し確認している。
		特色	○児童の実態を基に指導するだけでなく、特に低学年を中心にサポートティーチャーを配置し、個に応じた指導と支援を行っている。
	評 定	B	課題・改善策

2	<p>体験的な学習、問題解決的な学習及び児童の興味関心を生かした自主的・自発的な学習が適切に行われるよう努めているか。(教育センター)</p> <p>【昨年度の課題・改善策】</p> <p>各学習において身に付けたい資質・能力をより明確化した上で指導に臨むことが求められる。</p>	<p>取組状況</p> <p>○校外学習に向けての事前・事後学習を計画的に行っている。</p> <p>○問題解決的な学習については、児童の興味・関心を引き出す工夫をしながら、単元(題材)の目標の実現のための学習活動を行っている。</p>
	<p>評 定</p> <p>B</p>	<p>特色</p> <p>○基礎・基本を大切にしながら、問題解決的な学習や探究学習を各教科で行っている。</p>
3	<p>学級内における児童の様子の把握や、児童の実態に即した学習指導を通して、学級経営が適切に行われているか。(教育センター)</p> <p>【昨年度の課題・改善策】</p> <p>well-beingの結果や児童の見取りを適切に分析し、引き続き学級経営の充実に努めることが望まれる。</p>	<p>取組状況</p> <p>○外国人教員と日本人教員が密にコミュニケーションをとり、児童の様子を把握している。</p> <p>○児童の様子について、必要に応じて、児童支援担当、学習支援員、養護教諭、管理職も交えた情報交換をし、学級経営を行っている。</p>
	<p>評 定</p> <p>B</p>	<p>特色</p> <p>○外国人担任だけではなく、各学年に日本人教員を配置したチームで指導にあたっている。</p> <p>○「キャリア・パスポート」を活用し、担任が中心となって、児童の目標や振り返りなどの状況を把握している。</p>
4	<p>学習指導要領を基にした年間指導計画にのっとり、「特別の教科 道徳」の指導が適切に行われているか。(教育センター)</p> <p>【昨年度の課題・改善策】</p> <p>授業で使用する言語や教材にかかわらず、児童に道徳的判断力や道徳の実践力等が身に付くような授業づくりが求められる。</p>	<p>取組状況</p> <p>○公開授業や研究授業を中心とした研修で、資料提示、発問、補助発問等を検討し、適切な指導を行うよう努めている。</p> <p>○授業で使用する言語や教材にかかわらず道徳的判断力や道徳の実践力等が身に付くような授業を行っている。</p>
	<p>評 定</p> <p>B</p>	<p>特色</p> <p>○外国人担任と日本人教員で内容の相談をした上で分担し、英語の道徳の時間と日本語の道徳の時間を設けている。</p> <p>○授業において、児童が考えを深める段階、振り返り時間の意義を研修で確認し、児童の道徳の実践意欲の向上につながるように日々の授業で意識している。</p>
その他		<p>課題・改善策</p> <p>—</p>

表 題 12		児童指導に関すること	
No.	評 価 項 目		評 価 意 見
1	<p>全教職員が児童指導に取り組めるように、体制が整備されているか。(学校教育課)</p> <p>【昨年度の課題・改善策】</p> <p>共有した情報を基に即時かつ細やかな対応ができるように、引き続き、体制整備の充実に努めることが望まれる。</p>		<p>取組状況</p> <p>○毎月開催している職員会議等で児童指導の情報を共有したり毎日の朝会で情報を伝達したりしている。</p>
			<p>特色</p> <p>○伝達事項について、日本語と英語でシートに記載し、共有できるようにしている。</p> <p>○児童指導の記録を教職員で共有し、必要に応じて情報を更新している。</p>
	評 定	B	<p>課題・改善策</p> <p>○引き続き、即時かつ細やかな対応ができるように体制整備の充実に努めるとともに、情報の管理を徹底することが望まれる。</p>
2	<p>保護者や地域社会、関係機関等と連携・協力が図られているか。(学校教育課)</p> <p>【昨年度の課題・改善策】</p> <p>引き続き地域社会や関係機関等と連携し、相互交流などを深めていくとともに、活動で得た成果等を発表するなど、地域に還元していくことが望まれる。</p>		<p>取組状況</p> <p>○学校行事や懇談会、学校公開日等で保護者が参観できる機会を設定している。</p> <p>○地域の学校・警察連絡協議会に加盟し、地域の学校との話し合いに参加し、情報を共有している。</p> <p>○北の丘センターで児童の作品を展示したり、清掃活動を行うなど、地域の関係機関との連携・協力を図っている。</p>
			<p>課題・改善策</p> <p>—</p>
	評 定	B	
3	<p>保護者と連携・協力して、基本的な生活習慣が身に付けられるよう努めているか。(学校教育課)</p> <p>【昨年度の課題・改善策】</p> <p>引き続き、児童の文化的背景なども考慮しながら細やかな指導が継続されることが望まれる。</p>		<p>取組状況</p> <p>○児童への指導とともに、保護者参加のエデュケーションルレクチャー(学校の教育理念の講義)で伝達している。</p> <p>○学校便りや学級便り、保健便り等で基本的な生活習慣について保護者に周知している。</p>
			<p>課題・改善策</p> <p>—</p>
	評 定	B	
4	<p>学校生活全体を通し、豊かな人間関係づくりに努めているか。(学校教育課)</p> <p>【昨年度の課題・改善策】</p> <p>引き続き、異学年交流や多文化理解などの活動を充実させていくことが望まれる。</p>		<p>取組状況</p> <p>○「ともだちのいいところを見つけよう」等月間目標を設定し、学校全体で取組を進めている。</p> <p>○様々な国の文化や話題に触れる機会を設定している。</p> <p>○授業において、異学年交流をしている。</p>
			<p>課題・改善策</p> <p>○引き続き、学校生活全体を通じて一人ひとりの良さを認めた人間関係づくりを大切にいくことが望まれる。</p>
	評 定	B	

5	命の大切さや環境の保全、社会の一員としての意識（公平・公正、勤労、奉仕、公共心、公德心や情報モラル等）や、規範意識の向上に努めているか。（学校教育課） 【昨年度の課題・改善策】 引き続き、児童の意識向上や保護者への啓発に向けた取組が充実されていくことが望まれる。	取組状況	○校外学習や行事の際には、事前指導を行うとともに、体験的に児童の公共心、公德心を向上させられるよう工夫している。 ○学級活動年間計画の6月、11月、2月にネットモラルについての学習を設定している。 ○エデュケーショナルレクチャーで保護者への啓発を行っている。
	評 定	B	課題・改善策
6	いじめ防止や早期発見に向けて、適切な対応が図られているか。（学校教育課） 【昨年度の課題・改善策】 引き続き、児童に関わる様々な教職員から情報を収集し、児童の関係把握に努めることが望まれる。	取組状況	○いじめのアンケートやエンリッチメントタイムの活用、教員の聞き取り等による、実態把握を行っている。
	評 定	B	課題・改善策
7	インターネットを通じて行われるいじめの防止に向けた啓発活動が行われているか。（学校教育課） 【昨年度の課題・改善策】 引き続き、6年間を見通した系統性かつ状況に応じた即時性のあるICTリテラシーの指導に努めることが望まれる。	取組状況	○児童の発達段階に応じたテーマを設定し、ネットモラルの授業を計画的に行っている。 ○エデュケーショナルレクチャーで保護者への啓発を行っている。
	評 定	B	課題・改善策
8	いじめが発生した際、適切・迅速な対応が図られる体制は整っているか。（学校教育課） 【昨年度の課題・改善策】 ・エンリッチメントタイムについては、教科指導の時数確保に留意しながら、適切に活用していくことが望まれる。 ・今後もエンリッチメントタイムなどの活用により児童の変化を早期に発見し、得られた情報を職員全体で共有しながら多くの目で見守り、指導・支援を行う体制づくりの継続が望まれる。	取組状況	○いじめ防止基本方針に基づき、必要に応じて休み時間等を活用して情報収集をしながら、いじめについての情報が児童等からあった場合は、児童指導担当や教務主任に報告し、児童指導部会等で情報共有を図り、指導、支援する体制となっている。
	評 定	B	課題・改善策
その他			



表 題 13		教職員の研修・評価に関すること	
No.	評 価 項 目	評 価 意 見	
1	校内、校外における研究・研修等を通じて教職員の資質・能力向上についての取組がなされているか。(教育センター) 【昨年度の課題・改善策】 動画資料などを活用し、引き続き教員の授業力が高まるような研修を行うことが求められる。	取組 状況	○授業改善のための研修の計画を立て、それに基づいて月に1回程度実施している。 ○示範授業を動画資料にしたものや、公開授業参観などを基に研究協議を実施している。
		特色	○児童理解を中心に据えた、児童の成長したい・学びたいと願う力を応援する Positive Discipline の考え方・手段を研修に取り入れている。 ○外国人講師を招聘してオンライン研修を行い、教員の資質向上に努めている。 ○理論と実践を繰り返し、教員一人ひとりが目標設定し、管理職がその目標を達成するための指導を行っている。
	評 定	A	課題・改善策 —
2	「特別の教科 道徳」の授業が効果的に行われるような研修体制が整備されているか。(教育センター) 【昨年度の課題・改善策】 動画資料などを活用し、外国人教員を含めた全教員が学習指導要領において求められる道徳的な判断力や実践意欲などをより深く理解するとともに、道徳の授業力が高まるような研修を行うことが求められる。	取組 状況	○子どもが考えを深める段階、振り返る時間の意義を研修で確認し、日々の授業で意識し指導を行っている。
		特色	○公開授業や研究授業を中心として、資料提示、発問、補助発問等を検討する研修を計画している。
	評 定	B	課題・改善策 —
3	外国人教員の普通免許状の早期取得に向けた取組が行われているか。(教職員人事課) 【昨年度の課題・改善策】 普通免許状取得者が昨年度よりも増えているが、外国人教員の普通免許状取得者の割合は少ないため、普通免許状取得に向けた計画的な取組が求められる。	取組 状況	○臨時免許取得者を対象に、毎年、数名の外国人教員が県内大学の通信教育課程を履修し、日本の教員免許の取得に取り組んでいる。 ○令和5年4月に1名、令和6年4月に1名が小学校二種免許を取得。令和6年度は6名の教員が履修中。
		特色	○免許取得に向けた大学の授業料補助や、希望する外国人教員に対し日本語講座の受講機会を設定するなど、普通免許状取得に向けた環境整備を行っている。 ○単位の習得に向け、履修内容の疑問や質問等に対し日本人教員からアドバイスをする、英語と日本語間の翻訳専門職員を配置するなどのサポート体制を整えている。
	評 定	B	課題・改善策 ○普通免許状を取得した外国人教員の割合は依然として少ないため、普通免許状の更なる早期取得に向けた計画的な取組が求められる。

4	教職員の人事評価体制が整っているか。 (教職員人事課) 【昨年度の課題・改善策】 正式な運用を見据え、試行による課題等を検討し、改善することにより、適切な人事評価を実施していくことが求められる。		取組状況 ○教員評価用の目標シートの段階的な運用を始め、今後、待遇への反映をする予定である。 ○公立学校で使用されている評価シートを参考に目標の設定を行い、今年度はすでに個人ごとの目標に対する個別面談を管理職が実施済み。
			特色 ○年度初めの管理職面接の際には、目指す教師像や教育観などを確認する中で、具体的な目標設定につなげるようにしている。 ○外国人教員の面談の際には、面談者とは別に、必要に応じて通訳ができる管理職を同席させ、安心感と共に十分な意思疎通ができる環境を整えている。
	評 定	B	課題・改善策 ○段階的な運用を進めながら、正式な運用に向けて課題等を検討し、改善するとともに、より専門性の高い人材育成に役立つ人事評価を実施していくことが求められる。
その他			

表 題 14	学校保健に関すること		
No.	評 価 項 目	評 価 意 見	
1	感染症の予防に対し、学校保健安全法に基づく出席停止、臨時休業等の適切な対応ができる体制が整っているか。(学校保健課) 【昨年度の課題・改善策】 引き続き、感染症の予防に向けた取組、体制等を継続することが望まれる。	取組状況 ○感染症については、養護教諭を中心として、学校医と連携を取り、出席停止や臨時休業等の対応をしている。	
	評 定	B	課題・改善策 —
その他			

表 題 15		学校安全に関すること	
No.	評 価 項 目	評 価 意 見	
1	交通安全や災害発生時の安全に関する指導（避難訓練、交通安全教育等）が適切に行われているか。（学校教育課） 【昨年度の課題・改善策】	取組 状況	○火災や地震を想定した避難訓練及び交通安全教室を、関係機関と連携し、実施している。 ○登下校時において、児童に自分の身を守るための指導を行った。
	広域より通学している特性から、引き続き登下校時の災害遭遇を想定した計画、指導を検討していくことが望まれる。	特色	○安否確認フォームを活用するなど、家庭と協力しながら安全指導を行っている。
	評 定	B	課題・ 改善策 ○引き続き、登下校時等の様々な災害や不審者事案等を想定した安全指導の実施が望まれる。
2	災害発生時や事件発生時における児童の安全確保の対策及び危険発生時に対処するための職員の訓練等をどのように講じているか。（学校教育課） 【昨年度の課題・改善策】	取組 状況	○学校防災活動マニュアルを基に、災害発生時の教職員の動きを確認した。 ○教職員による不審者対応訓練を行い、事件等発生時の対応を確認した。
	今後も様々な危険発生時を想定した訓練を、計画的に行っていくことが望まれる。	特色	○危険等発生時の対応については、児童の安全確保のため、専門家にセキュリティ対策や周辺の防犯情報を提供してもらっている。
	評 定	B	課題・ 改善策 ○引き続き、想定しうる災害や不審者事案等に対して、計画的に訓練を行っていくことが望まれる。
3	災害発生時や事件発生時における保護者への連絡体制等、緊急時の登下校の安全対策を、どのように講じているか。（学校教育課） 【昨年度の課題・改善策】	取組 状況	○防災の日に合わせ、学校便りで保護者に対して、緊急時の連絡体制等、各家庭で確認してほしいことを伝えた。 ○災害発生時に全保護者に対して、安否確認フォームを付けたメールを送付し、被害状況の速やかな把握に努めた。
		特色	○保護者掲示板に掲載されているペアレンツハンドブックを基に、災害等発生時の対応を周知徹底している。
	評 定	B	課題・ 改善策 —
その他			

表 題 16		自己評価の実施状況に関すること		
No.	評 価 項 目		評 価 意 見	
1	自己評価の項目は適切か。(学校教育課) 【昨年度の課題・改善策】 引き続き、設定した目標に応じて、年度ごとに評価を見直す等の改善を図ることが望まれる。		取組 状況  課題・ 改善策	○中・長期目標及び今年度の重点目標を掲げ、各領域の項目を適切に設定している。  ○学校の実態に応じて、年度ごとに評価項目自体の妥当性を検証する等の改善を図ることが望まれる。
	評 定	B	課題・ 改善策	—
2	自己評価の結果を、翌年度の指導目標等の改善に活用しているか。(学校教育課) 【昨年度の課題・改善策】 引き続き、目標が達成されていない事項を明確にして、年度ごとに重点を見直す等の改善を図ることが望まれる。		取組 状況  課題・ 改善策	○評価結果を踏まえ、具体的な改善策を講じながら新年度の計画を立案している。  —
	評 定	B	課題・ 改善策	—
その他				

総合評価	
教育内容については、全29項目中、評定Aが1項目、評定Bが28項目、評定Cはなかった。教育内容等についてはおおむね適切な対応が図られている。	

## IV 経営

### 所 見

#### (1) 小学校事業に関するマネジメント

令和6年度の入学者数は52名、令和6年5月1日時点での在籍者数は284名となり、在籍者が減少に転じた。入学者の確保が課題である。

令和5年度中の退学者数は30名であり、退学率（全校児童数に対する退学者数の割合）は10.2パーセントであった（前年度17名、6.0パーセント）。

#### (2) 中長期的な事業承継

校長職は3年後、代表権は共同代表を経て5年後に、学園長職は5年後に承継する計画が示された。株式移転に関する文書化された計画はない。

#### (3) 令和6年3月期決算の状況

令和6年3月期決算は、授業料、施設協力費等の増収を主要因とし、前期と比較すると増収増益となった。

なお、令和6年10月より人事管理システム等、各種システムの見直し変更により利用料が削減されるなど、経費削減の取組も行っている。

### 総合評価

アフタースクールや東京英語村など外部向けの事業の売上が拡大しつつあり、単年度の利益と運転資金の確保はできていることから、小学校の入学者及びプリスクールの入園者を適切に確保することを前提とした上で、株式会社エデュレエルシーエーの今後数年間の運営に重大な懸念事項はないと評価する。引き続き、入学者・入園者に加え、各種スクールの受講者の適切な人数を確保し、収入の安定化を図るとともに、新規事業等については、収益性や実現性などを十分検証し、取り組まれたい。

また、安定的・継続的な学校運営に向け、教員の離職や児童の中途退学の要因分析を着実にを行い、その結果を踏まえ、適切に対応するとともに、徹底した経費削減を進め、負債削減に取り組まれたい。

加えて、学園長職等の承継を進めるとともに、中長期的な事業承継については、株式の移転時期・方法について十分に検討し、円滑な事業承継に向けた取組を進められたい。